

第 16 回議会報告会 報告書

地 域 名	南谷地域		
年 月 日	平成 29 年 10 月 20 日 (金)	会 場 名	宮本公民館
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 00 分
参 加 数	男性 8 人	女性 1 人	合計 9 人
班 長	田路 之雄	司 会 者	田路 之雄
報 告 者	田村 和也	書 記	西谷 昭徳
班 員 名	田路 之雄、西谷 昭徳、田村 和也、深澤 巧		
	市 民	対 応	
報告に対する質疑	<p>① 養父市の財政状況を考えると、大きな文化会館はいらぬ。合併以降、文化活動の予算が減額されて十分な活動ができていない。中身がしっかりしたものにすべきである。八鹿が中心でない。大屋や関宮に光が当たるように目を向けてもらいたい。</p> <p>② グンゼ跡地は交通の便が悪い。他にも適地がないのか。市民の意見は聞いたのか。この場所では将来のまちづくりに投資効果が期待できない。</p> <p>③ 第三セクターの報告がある。やぶパートナーズの赤字決算について議会はどのような意見なのか。</p> <p>④ 今期の議会は全く信用がなくなっている。議長の責任も大きい。本来議員辞職せねばならぬことだ。議員がしなければならない勉強をしていないことが原因だ。市民はよく見ている。市民は議会に期待している。責任は重たい。</p>	<p>① 全体で 35 億円の事業費と説明を受けている。</p> <p>② 基本構想検討委員会の答申でここが適当という報告があった。市長はタウンミーティングで市民へ説明し意見を聞いている。議会としては今後計画の進行の中で市民の意見を反映させたい。</p> <p>③ 非収益事業を行っている。これまでに 6 億円ぐらいの養父市の PR 効果を得ている。朝倉山椒、米などについて PR し海外にも広めてきている。今期より社長が交代している。今後の経営については引き続き監視していきたい。</p> <p>④ 議員として襟を正したい。</p>	

	市 民	対 応
意見交換会での質疑	<p>① 養父市の移住PR動画が今では見られない。公開期間は短かった。大きな予算が使われているが、効果の検証はできているのか。</p> <p>② 大杉地区が注目されている。「大屋大杉」は特区の制度で改築されているがほとんど活用されていない。多額の補助金が使われている。大屋の観光資源を面をつないでほしい。地域の活性化を期待している。</p> <p>③ サービス業を営んでいるが、バスの便が悪く高齢のお客さんが困られている。大屋でも養父の福祉バスみたいな小回りのバスの運行が考えられないのか。</p> <p>④ バスに乗ることが困難な方もいる。対策はあるのか。免許証の返納者も増えてくる。</p> <p>⑤ 18号台風のとき、旧口大屋小学校避難所（おうみ団地）でトイレが使えないなどの問題があった。南谷の避難所も同じだ。指定緊急避難所として機能するのか。同じようなところが市内にはあるのではないのか。避難所の受入体制の整備は確認できているのか。</p>	<p>① 市の魅力度が上がってきた、と報告を受けている。費用対効果についての考えを当局から回答いただく。</p> <p>② 特区の規制緩和の制度的な評価と地域での現実評価とのギャップを感じる。今年度大屋地域で観光動態の分析や地域の観光資源を有効につないでいく事業（DMO）を試験的に始めている。</p> <p>③ コミュニティバスは路線バスの運行以外の区域が対象になる。時刻表の検討は公共交通連携会議で検討されている。市民の強い要望が出れば運行路線も変えていけると聞いている。</p> <p>④ ドア to ドアが可能な交通弱者対策が平成30年度実施に向け検討されている。</p> <p>⑤ あちこちの地区より指摘があり問題となっている。今、危機管理室で検討し対策を立てると聞いている。</p>
その他（提言など）	<p>① 市の教育、農業などいろいろな会議が八鹿と養父に集中している。合併の約束はそれぞれの地域が発展していく、ということであった。八鹿地域の議員が率先して会議開催の均等を問題提起してほしい。</p>	<p>① 調査して取り上げていきたい。</p>
備考 なし		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

平成 29 年 11 月 2 日

報告者 3 班 班長 田路 之雄

